

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
303	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Suppression of ethanol and lipopolysaccharide-induced liver injury by extracts of <i>Hydrangeae Dulcis Folium</i> in rats</p> <p><i>Hydrangeae Dulcis Folium</i> (アマチャ) 抽出物がラットにおいてエタノールとリポ多糖によって誘導される肝障害を抑制する</p>	
執筆者	
Hashizume E, Nakagiri R, Shirai A, Kayahashi S, Yasushi S, Kamiya T	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Biosci Biotechnol Biochem. 2003 ; 67(9): 1857-63	
キーワード	
<i>Hydrangeae Dulcis Folium</i> (アマチャ)、肝障害	
要 旨	
<p>リポ多糖 (LPS) (5 mg/kg BW i.v.) を注入後、エタノール (4 g/kg BW) を経口投与したメスの SD ラットでは血清中の GPT 活性が通常の 8 倍に増加する。このモデルに 1% の <i>hydrangeae Dulcis Folium</i> (HDF) (アマチャ) 抽出物を含むエサを 15 日間与えると、コントロール群よりも明らかに低い GPT 値を示した。このモデルにおいて、HDF の効果は <i>milk thistle</i> よりもはるかに優れている。マウスのマクロファージを HDF 抽出物 (50 microg/ml) で処理すると LPS による TNF alpha の産生誘導がコントロールに比べ、10% 抑制された。LPS によって誘導されるラットの血清中の TNF alpha レベルは HDF 抽出物を経口投与 (1000 mg/kg BW) することにより、コントロールの 58.7% まで減少した。以上の結果より、HDF は TNF alpha 産生を阻害することにより、アルコール誘導性肝障害を抑制することが示唆された。</p>	